ご入居者様各位

冬季の給水凍結予防について

拝啓　厳寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

早速ですが、最近凍結による給水不能が発生しております。特に夜間つきましては、通水が少なく凍結し易い条件となりますので、下記方法にて凍結予防を心がけていただきますようお願い申し上げます。

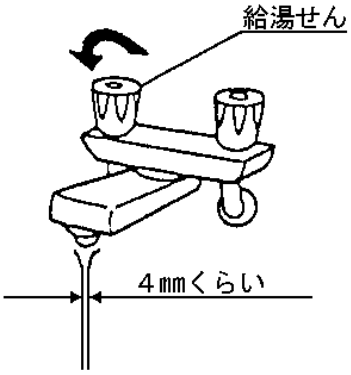
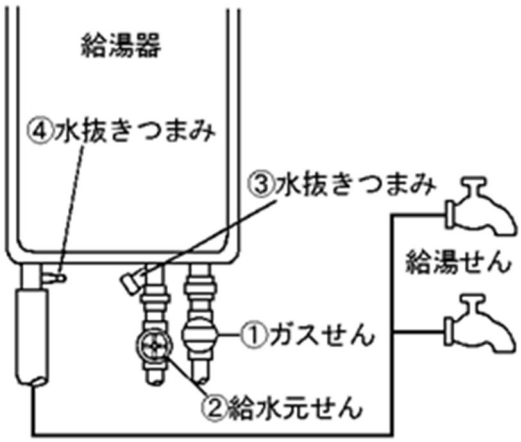
又、機器が凍結すると、給湯できないばかりでなく、水漏れ故障の原因になります。ご入居中の凍結による機器や配管の破損修理は、お客様の費用負担となりますのでご注意下さい。

敬具

A．通常のとき

・給湯器には、温度が下がってくると自動的に機器内を保温する自動凍結予防装置（電機ヒーター）がついています。通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
・自動凍結予防装置は「運転スイッチ」の「入」・「切」に関係なく作動します
・自動凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しません。**絶対に電源プラグは抜かないで**下さい。

B．異常寒波のとき

給水給湯配管やバルブ類が凍結して水がでない場合は、以下の方法にて対処お願いします

1．プラグをコンセントから抜くか、室内の給湯器用ブレーカーを「切」にします。(リモコンがある場合は、運転スイッチを「切」にします)
2．給湯器のガスせん（下図①）をしめます。
3．浴室の給湯せんを開け、１分間に約 400 cc（牛乳ビン２本分ぐらい）の水を浴そうに流し続けます。流量が不安定になることがありますので、念のため 30 分ぐらい後にもう一度量を確認します。
（浴そうに流し込んだ水は翌日の雑用水としてご利用下さい）